

# マイスター・ハイスクールだより

北海道教育庁学校教育局高校教育課  
[令和5年度第2号] R5.10.31発行

～文部科学省「マイスター・ハイスクール事業」(北海道静内農業高等学校)～

## 令和5年度 第2回運営委員会を開催

10月18日(水)、令和5年度第2回運営委員会をオンラインで開催しました。開会に当たり、西村副委員長から「マイスター・ハイスクール事業の学習を生かして、生徒が様々な大会で活躍していることが報道で紹介されていることを大変嬉しく思います。本日は、皆さんが一番気になる事業終了後の体制づくりについて、御意見いただきたい。」と挨拶がありました。

委員会においては、桑名副校長から3年目の事業の経過、マイスター・ハイスクール事業実施前と実施後の生徒の学びの変化、事業の継続に向けた検討案について、説明がありました。

### 桑名副校長 (マイスター・ハイスクールCEO) による説明

#### < 3年目の事業経過について >

今年度は、104の事業が計画され、9月8日現在、実施率は55%と概ね順調に実施されています。地域の企業や団体等と連携した今年度の主な取組について紹介します(カッコ内は連携先)。

令和5年度の事業実施状況 (9月8日現在)						
	事業数	計画	実施	未実施	中止	実施率
食品科学科	28	15	13	0	0	54%
生産科学科 馬事コース	22	12	10	0	0	55%
生産科学科 園芸コース	31	16	15	0	0	52%
eコマース	10	5	5	0	0	50%
英語学習	8	6	2	0	0	75%
英語演説	5	3	2	0	0	60%
合計	104	57	47	0	0	55%

※実施率 = 実施数 ÷ (計画数 - 中止数) × 100 で計算

令和5年度の事業実施状況



【食品科学科】どさんこプラザ札幌店での試験販売(日高振興局商工観光労働課)



【生産科学科・園芸コース】先進地視察研修(新ひだか町みどりのシステム推進協議会)



【生産科学科・馬事コース】3D鏡を活用した乗馬療育の実践(北海道立総合研究機構)



夏期休業中における遠隔での数学・英語の講義配信(北海道教育委員会)



短期留学生の受入れによる国際交流(新ひだか町姉妹都市交流委員会)

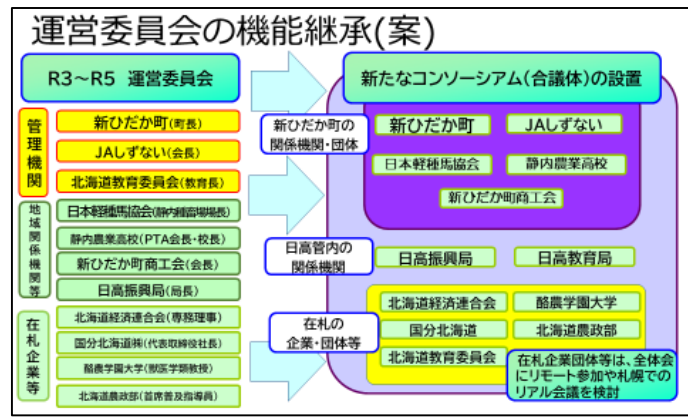
#### < マイスター・ハイスクール事業実施前と実施後の生徒の学びの変化 >

マイスター・ハイスクール事業の導入前と、3年目となる本年において、生徒の学びの内容がどのように変わったのかを整理しました。

学科	取組前	取組後
食品科学科	<ul style="list-style-type: none"><li>限られた研究班が、商品開発の学びを体験</li><li>原材料生産に関する研究班もあり、地域資源の活用は低迷気味</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>食品に関する4つの研究班を開設し、全生徒が連携した学びを体験</li><li>地域資源の活用が活性化</li></ul>
生産科学科(園芸コース)	<ul style="list-style-type: none"><li>限られた研究班が、外部と連携したプロジェクト学習を体験</li><li>地域の生産者や研究機関との関わりが薄く、栽培技術や生産状況は低迷気味</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>授業や研究班単位で、全生徒が地域課題の発見や地域の農業の学びを体験</li><li>様々な技法を学び、地域農業の活性化に貢献</li></ul>
生産科学科(馬事コース)	<ul style="list-style-type: none"><li>JRA・JBBAは継続的に本校の馬事教育に関与</li><li>連携や支援、学習の範囲が限定的</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>繁殖から販売までの専門的プログラムが充実</li><li>競馬産業の理解を深める学習が拡大</li></ul>

## <事業の継続に向けた検討案>

運営委員会やマイスター・ハイスクールCEO、産業実務家教員の機能を、本事業終了後(令和6年度以降)、次のように継承・見直しすることについて、案が示されました。



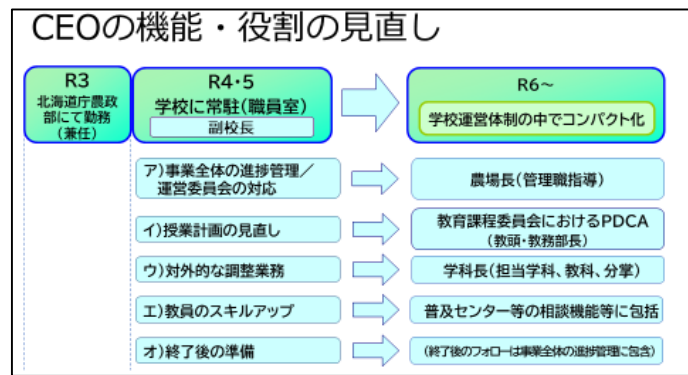
### <運営委員会の機能継承のポイント>

- ・出席委員の負担の軽減
- ・開催主体の機動性の確保
- ・他校での横展開



### <方向性>

- ・地域関係者を主体としたコンソーシアムの設立
- ・在札企業とのリモート会議の開催 など



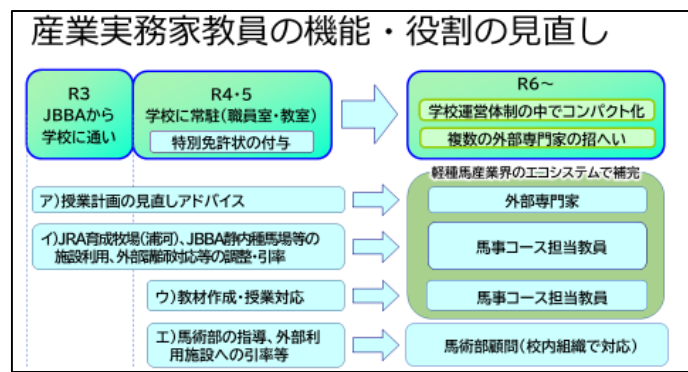
### <CEOの機能・役割の見直しのポイント>

- ・学校運営体制の中でコンパクト化
- ・複数の教諭で分担して対応



### <方向性>

- ・農場長が、事業全体の進捗管理
- ・教頭・教務主任が、授業計画の見直し
- ・学科長が、各分野の事業調整 など



### <産業実務家教員の機能・役割の見直しのポイント>

- ・学校運営体制の中でコンパクト化
- ・複数の外部専門家の招へい



### <方向性>

- ・担当教員が、外部講師や施設利用調整
- ・外部専門家から、授業計画について助言
- ・馬術部顧問は、校内組織で対応 など

## 運営委員からの指導・助言

- 学校からの意見や要望を踏まえ、事業が継承できるよう人員の配置や予算面などで対応するとともに、本校が構築した職業人材育成システムを、他の専門高校に展開できるよう取り組んでいきたい。【行政】
- 振興局として、地域の産業理解を進める取組や、特産品の消費拡大イベントへの高校生の参加など、引き続き、学校と連携しながら取組を進めていきたい。【行政】
- 園芸に関する学校支援を普及活動の一般業務として位置付けることは十分可能と思う。本事業を通じてできたつながりを生かしてほしい。【行政】
- 食品に関する事業について、経済界として、今後もできる限り協力していきたい。【産業界】
- 馬に関する事業について、助成金を活用しながら、今後も様々な支援を行っていきたい。また、授業の質を維持するための先生方の専門的な研修についても、協力していきたい。【産業界】
- 民間企業にとって、地域貢献や産学官連携は責務だと考えている。連携により企業理解が深まり、就職にも結び付いたため、今後もパートナーシップとして取組をしていきたい。【産業界】
- 本事業をどのような組織体制で継承するのか具体化するとともに、在校生やこれから入学してくる保護者に、次年度以降の取組について示していく必要がある。【産業界】
- 北海道は人気の観光地や移住地でもあるため、農業の専門性に加え、外国のことを知っておくことも必要になってくると思う。【産業界】